
モンスターハンター <戦乱の狩人>

侍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モンスターハンター <戦乱の狩人>

【Nコード】

N4379Z

【作者名】

侍

【あらすじ】

これは、戦争に身を投じる一人のハンターの物語である

始まりの歴史（前書き）

初めまして。侍です。読んでいただければ幸いです。

始まりの歴史

ある時、戦争が起きた。

あるものは己が欲望を満たすため。

あるものは、守るべき者を守るため。

様々な意志がぶつかりあい、様々な意志が時代の闇に消えていった。

そんな中、別の大陸から見たこともない者達が渡ってきた。

その形相は竜の如く、強さは鬼の如し。

人々の命を無闇に奪い、全てを破壊するその姿はまさに鬼神の様であつた。

人々はもはや戦争どころではなくなってしまった。

対立し、戦争をおこなっていた二つの勢力は和解条約を結び、お互いに手をくみ、民を守るため立ち上がった。だが、今まで続いた戦争で疲労していた兵士など、鬼神の敵ではなかった。

多くの犠牲を払い、人々はいいに一匹の鬼神を討伐した。その鬼神からはぎ取った鱗や骨髄などで鎧と武器を生産し、ある一人の兵士に装備させた。

・・・兵士、赤き鎧をまといて鬼神をも一刀両断せし重き一撃を放ち、世界に平和をもたらさん・・・

このような伝承が残るほど、赤き兵士は鬼神を次々と討伐していった。そして討伐した鬼神から剥ぎ取りし鱗などの素材からまた新たな鎧を作り出す。そしてまた、新たな兵士がその鎧をまといて鬼神を討伐する。

人はいつからか、このような者達を「モンスターハンター」と呼ぶ

様になった。

そして「モンスターハンター」により人と鬼神との均衡が保たれて二十年後。

かつて戦争を行った二つの勢力は「ダリル国家」というひとつの勢力にまとまり、その中で「王家」と呼ばれる者達が政治を行う様になった。

それからさらに五十年後、王家が人に害を及ぼす鬼神を討伐し、全滅を目的とする軍隊を結成した。

鬼神を狩ることを職業としたモンスターハンター等は、鬼神が全滅すると狩ることができなくなり、非常に困るのでハンターギルドを通し、止めるよう要求。だが、王家はこれを無視。そしてこの事を逆手にとり、あるうことかモンスターハンター達を国賊扱いし、討伐する事も表明した。

これを受けたハンターギルドはモンスターハンターを中心とした部隊を結成。これに対抗する意志を見せた。

そんななか、人間界の異様な雰囲気を感じたのか、鬼神達の縄張り意識は以前よりも強くなった。

王家・狩人・鬼神。

三つの意志がつどいし時、物語は始まる。

プロローグ 赤き鬼神と紅き鬼神交わる

木々が生い茂る森の中。

戦争による鬼神達の縄張り意識が低くなれば、散歩道としては丁度いい森なのである。

そんな森の奥地に、二つの体が倒れていた。

一つは赤き鱗を身にまとった、鬼神。

一つは、幾重の赤き鬼神の魂をつなぎ合わせ作られた紅き鎧をまといし狩人。

互いに息はしておらず、体はすでに冷たかった。

幾重の狩人をも殺めた鋭い自慢の爪も、幾重の鬼神をも狩った重き大剣も、今や何の効果を示さない。

鬼神は、家族を守る為人を。

狩人は、仲間を守るため怪物を。

守るべき者も、力も、想いさえも類似した二つの生き物は相打ちとなり、果てた。

- - - 家族を守りたい。

- - - 仲間を守りきりたい。

- - - そして

- - - 何よりも

- - - 戦争を

- - - 終わらしたい

果てた二人の今や叶わぬ想いが天に昇る寸前交差し、

奇跡は、起きた。

< . . . ううん。 >

鬼神の意識は起きた。そして、周りの生い茂った木々を見て、一つの結論に落ち着いた。

< そうか、我は勝ったのだな。 >

残念ながら、半分違う。しかし、間抜けな鬼神は体の違和感に気がつかずのんきに浮かれている。ついでに意識の中で鼻歌まで歌いだした。

「ううーん . . . 。」

そして、もう一人の鬼神も起きた。辺りを見て、一言。

「そうか、我は勝ったのだな。」

何度も言うが、半分アウトである。

＜あれ？なぜ私の体が勝手に？＞

「あれ？なぜ私の脳内で渋いおっさんの声が？」

< え ? >

「え？」

一瞬の静寂。だが一匹と一人にはその一瞬が長く感じられた（推定三分）様である。どうしたら一秒を約三分と感じられる様になるのか、不思議だ。

「
くええええええええええ！？>
」

一匹と一人にとって大切な日々がはじまる何度も言うが、半分アウ
トである。

＜あれ？なぜ私の体が勝手に？＞

「あれ？なぜ私の脳内で渋いおっさんの声が？」

<え?>

「え？」

一瞬の静寂。だが一匹と一人にはその一瞬が長く感じられた（推定三分）様である。どうしたら一秒を約三分と感じられる様になるのか、不思議だ。

「くええええええ！？」

一匹と一人にとって大切な日々がはじまる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4379z/>

モンスターハンター <戦乱の狩人>

2011年12月17日01時58分発行